

第6回和牛甲子園 体験発表会概要

群馬県立吾妻中央高等学校

本校、動物科学研究部は、和牛の飼育管理や改良を継続している。私たちは、改良してきた和牛を地域生産農家に役立てて欲しいと考え活動を開始した。また、地域の観光業の衰退も地域の課題である。これらのことから、地域貢献を大きなテーマとし、「ゲノミック育種価を活用した繁殖和牛の普及活動」と「6次産業化に挑戦する活動」を中心に実施した。

ゲノミック育種価を活用した繁殖和牛の普及活動では、本校の和牛のゲノミック育種価を生産農家に提示し、9戸に12頭を提供できた。6次産業化に挑戦する活動では、中之条町役場やJAあがつまなどと連携して、オリジナルビーフカレーの開発・販売ができた。このカレーは発売から約1ヶ月で585個を売ることができている。また、販売店舗は13店舗に増加し、地域を訪れる観光客のお土産として購入されている。

今後の課題として、受精卵の提供による和牛の普及活動やビーフカレーの販路拡大などが挙げられる。